

科目名	公務員養成演習 (公務員養成の科学の演習)	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			経済学科	□必修	■選択
英文表記	Training Science II for Government Officials	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年		
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中		
ふりがな	いし かわ たけ いち	実務家教員 担当科目	○	修得単位	2単位
担当者名	石 川 竹 一	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	公務員という職業の本質・公務員選抜の仕組・社会における公務員の機能を考え、自己体験する。				
到達目標	公務員という職業と機能を理解し、社会と公務員と自己との関連を認識し、自己啓発への道を開発し、自己体験する。				
授業概要	社会の役に立つ公務員養成の科学の全てを深く掘り下げ、自己体験を通して、これを身につける。				
授業計画					
第1回	人間力・思考力・学力と公務員養成戦略演習				
第2回	公務員養成技法演習				
第3回	公務員養成のための基礎学力演習				
第4回	公務員試験（専門試験と教養試験）の変遷と本質を見つめながらの演習				
第5回	公務員選抜のための択一試験演習				
第6回	公務員選抜のための記述試験演習				
第7回	公務員選抜のための面接試験演習				
第8回	公務員試験対策のための学習場所・教材選・学習法演習				
第9回	公務員界・金融界・スポーツ経営界・国際ビジネス界の間の職業移動と模擬体験				
第10回	変動する社会と公務員制度と機能演習				
第11回	公務員の人気度と試験の難易度理解				
第12回	公務員の職務と経済学との繋がり理解				
第13回	公務員の身分保障理解				
第14回	公務員の基礎的資質（繋ぐ・詰める・尽くす）体験				
第15回	公務員としての笑顔力・前提力・共感力・傾聴力体験				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	必須。				
履修条件 受講のルール	授業時間外の多くの時間を学習に振り向けることが受講条件。授業中の私語は論外。				
テキスト	数的処理・過去問等の涵養のためのテキストを提示。				
参考文献・資料	大学における経済学関連既読教科書				
成績評価の方法	週間レポート提出60%、戦略ノート10%、授業討議10%、試験10%、平常点10%				
オフィスアワー	月曜日11時 - 12時30分、13時 - 14時30分				
成績評価基準	秀 (100~90点)、優 (89~80点)、良 (79~70点)、可 (69~60点)、不可 (59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は試験をうけることができません。				

実務経験及び実務を活かした授業内容	政府機関勤務の後、国連条約機関本部に26年間勤務（12年間は事務次長）し、数々の国際選挙・世界各国との政府間交渉・国際会議運営・国際機関の人事・管理・条約交渉など国際経済法執行のエキスパートであるので、自己体験としての公務員養成論演習を教授する。
学生へのメッセージ	ノースアジア大学生のみが受講のチャンスがある門外不出の公務員養成の科学、パートⅡ。